



偉人の言葉

他人に対して善を行っているとき、人間は自己に対して最善を行っている
ベンジャミン・フランクリン

第20回中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表(佐賀大会)に出場！ ステージ発表で優良賞、ポスター発表の生物部門で優良賞を受賞しました！！

2018年8月28日(火)に佐賀県佐賀市で第20回 中国・四国・九州地区 理数科高等学校課題研究発表大会に3-2-2伊佐春輝さん、3-2-24知念直琉さん、2-4-24玉城凜さん、2-2-31比嘉琉己さん、2-3-37諸見里雄大さん、2-4-23玉榮慈英さんが参加しました。指導された先生は、球陽高校理科教諭の大城哲哉先生です。ステージ発表とポスター発表の生物部門で賞を取った研究と内容は下記の通りになります。

ステージ発表:

「ソテツと泥染めの関係について」

内容:「ソテツと泥染めの関係について」泥染めの媒染液中の Fe^{2+} を回復させるソテツの働きを解明した。

ポスター発表の生物部門:

「ルリスズメダイ *Chrysiptera cyanea* の攻撃行動条件」

内容:採集したルリスズメダイが寄り添う行動をしたり、攻撃行動をしたりすることに興味を持ちその条件を明らかにした。



参加した生徒からのメッセージ

2-4-23 玉榮 慈英さん

正直に言えば、少ない実馬数の中、いかに因果関係がわかるか、考察を練るのに一番時間を費やしたかったのだが、発表では自分の考えをしっかり発表でき、他校の生徒と意見を交わすことができた。大会に参加して大層な成果を残せたと思う。この中間発表は自分の経験を生かしていった。

2-4-24 玉城 凜さん

今回は、先輩方の研究の発表だったので、この研究に直接関係してはいませんが、引きつきの研究をしている上で、楽しかったことは、「これかもしれない」という疑いを持ちながら実験をしていることで、苦しかったことは、実験が途中で失敗したり、上手くいかず負けたことです。後輩のみなさん、テーマを見つけ研究に取り組むことは大変だと思いますが、先生に聞いたり色々な文献を読んだりして頑張ってください。

2-3-37 諸見里 雄大さん

私にとっては、生物の分野で研究について、研究を通して、いくつ課程でのほとじが苦しかったと感じます。しかし、研究メンバー、担当やその他の先生たちのサポートのおかげで継続することができました。ポスター発表のときは、とても不安でしたが発表はしたが、大会と終えることができてよかったと感じることができました。研究をするのは大変ですがたくさんおかげで、一生懸命やれば楽しいものだと分かっていき、きょうこ木からの糧にしようと思うので、ぜひ頑張ってください。

3-2-24 知念 直琉さん

まず、研究をしていく上で「楽しかったことは自分の仮説違った思いがけない結果が出てくることです。そしてその結果をもって、次の仮説を立てていくことが研究の醍醐味だと思います。苦しかったことは実馬数が少なくて行なわなかったことです。研究する上で大切だと思ったのはどんなことでも一言で済ませずに書きとるということです。どのデータが必要かは分かりません。論文作るときに困らないために、日記録は全てしておく方がいいと思います。